提案理由を略す。

農救土木事業に関する件（戸切支部提出）

[illegible]醸成された社会不安の中

P11

満蒙侵略ソビエート同盟攻撃が戦争を遂行しつゝある、戦争の遂行はこの社會不安を一層激成しつゝある。從って彼等はいわゆるギマン政策を用いて大衆の不平不満の爆発を抑えつけようと必死となっておるのだ。農村救済土木事業もそのギマン政策の一つだ。

[redacted]

八月二十四日資本家地主共は農村救済と中小商工業者救済の名目で臨時議会を召集した。そして、彼等は農村救済の方法であると、米価つり上げ策として米の買上を行ふこと、借金救済として低資融通を行ふこと、農村失業者救済として土木事業を起すことを決定したのだ。

然し米価は最近二百万石の買上を發表したにも関らず下落しておる。又低資融通は、土地やその他の不動産をタンポに入れて、信用組合等から金を借りておる地主の救済であって、吾々小作人とは全然関係のないことだ。只一つ吾々が頼りにした土木事業は、僅か四千八百万円しか予算を計上せず、その内三千七百万円が労働賃銀なのだ。若し一人一日八十銭の賃銀で百万人の失業者を働かせるとすれば、僅か二十日しか救済出来ないのだ。

資本家地主共が農村救済が吾々をギマンし不平不満を抑えつけるものに進ぎないことは、以上の事実を見ただけでも知り得るのだ。

P.12 P.11

その上農村で行はれておる土木事業は、吾々小作人から只で田地を取りあげておるのだ。かゝるギマン的農救事業に対し、吾々は絶対に反対すると共に、真に窮乏しておる吾々農民を救済する方法を講ずる様に要求する。

実行方法

部落を基礎に、農救土木事業を地主資本家負担で起せ、その工事に全窮乏農民を使へ！と云ふ斗争を起し、まづ地方自治体、大地主に大衆的に要求すべきである。

産米検査反対斗争の件（南筑地区委員会提出）

提案理由略す。

青年部強化の件（本部提出試案）

農民斗争が益々激化し、これに従って支配階級の暴圧はいよいよ意識的となり、ロコツになって来た。

吾々が支配階級に対して争ふ方法は只一つ大衆行動のみである。

[redacted]この大衆行動は「オヤジ」だけでなく、一家総動員でやってこそ本当に強いものとなるのだ。緻密な、力強い大衆行動は、組織された青年部なくしては決してやれない。青年部の必要は斗争や大衆行動の時だけではない。支配階級は多くの農村青年に絶え間なく軍国主義や排外主義の毒素を注入し戦争の遂行と労働者農民運動を威圧するための反動軍へ編成するのだ。

[redacted]青訓、青年団皆然りである。かゝる支配階級のギマンに反対して